

## 別記1 【③運營業務(ソフト事業等)の実施】

### 研 究 業 績

#### ○原著論文(査読付学術雑誌)

##### 第一著者

1. 嶋田哲郎・植田健稔・星 雅俊・森 晃. 2017. 水位変動がオオハクチョウの採食場所選択に及ぼす影響. *Bird Research* 13: S5-S9.
2. Shimada, T., Hijikata, N., Tokita, K., Uchida, K., Kurechi, M., Suginome, H. & Higuchi, H. 2017. Spring migration of Brent Geese wintering in Japan extends into Russian high arctic. *Ornithological Science* 16: 159-162.
3. 嶋田哲郎・高橋佑亮. 2017. 伊豆沼・内沼におけるソリハシセイタカシギの初記録. 伊豆沼・内沼研究報告 11: 25-27.
4. 藤本泰文・星 美幸・神宮字 寛. 2017. アメリカザリガニ *Procambarus clarkii* の防除に有効な漁具の検討. 応用生態工学会誌 20: 1-10.

##### 共著

1. 安野 翔・鹿野秀一・藤本泰文・嶋田哲郎・菊地永祐. 2017. 浅い富栄養湖伊豆沼における浮遊系メタン食物連鎖: 炭素安定同位体比を用いた動物プランクトンへの寄与率の推定. 伊豆沼・内沼研究報告 11: 41-53.

#### ○学会やシンポジウムにおける発表

##### 第一著者

1. 嶋田哲郎・土方直哉・時田賢一・内田聖・呉地正行・杉野目斉・樋口広芳. 2017. コクガンの春の渡り経路の推定. 日本鳥学会 2017年度大会, 筑波.
2. 嶋田哲郎. 2017. ロボットやネットワークカメラ、ドローンを活用した湿地生態系の監視・管理システムの構築. 日本鳥学会 2017年度大会, 筑波.
3. Shimada, T., Hijikata, N., Tokita, K., Uchida, K., Kurechi, M., Suginome, H., Yamada, Y. & Higuchi, H. 2017. Satellite tracking of Brent Geese clarified some of their wintering distribution, movement and spring migration. Black Brant Specialists Meeting, Hakodate.
4. Shimada, T. 2017. Satellite-tracking of waterfowl from Japan. Developing effective coordinated monitoring of East Asian Waterbirds in the 21st century, Hulunbeier, China.
5. Shimada, T. 2017. Satellite-tracking of waterfowl from Japan. 2nd Argos Asian Wildlife Tracking Workshop. Incheon, Korea.
6. 藤本泰文・山田浩之・嶋田哲郎. 2017. 全周魚眼スマートフォンカメラを用いた水生生物の遠隔モニタリング, ELR2017, ESC-29. 名古屋. ポスター賞(優秀賞)
7. 藤本泰文. 2017. 伊豆沼・内沼の自然再生活動の自己採点. 第12回伊豆沼・内沼研究集会.
8. 速水裕樹・藤本泰文・嶋田哲郎・横山 潤. 2017. 伊豆沼・内沼湖岸に発達した植物相の特徴と立地環境の対応関係, 並びに保全上の課題について. 日本生態学会 2017年度大会, 東京.
9. 速水裕樹・藤本泰文・嶋田哲郎・横山 潤. 2017. 生活型から類推される植物群落の生活史戦略-伊豆沼・内沼を例として. 第12回伊豆沼・内沼研究集会.
10. 高橋佑亮・嶋田哲郎・神山和夫・牛山克己. 2017. ドローンの接近に対するガンカモ類の反応. ELR2017, ESC-29. 名古屋.

共著

1. 安野 翔・藤本泰文・倉谷忠禎・嶋田哲郎・鹿野秀一・菊地永祐. 2017. ハス群落に形成された徘徊性クモ類を中心とする水上食物網. 第12回伊豆沼・内沼研究集会.
2. 鹿野秀一・安野 翔・藤本泰文. 2017. 安定同位体比による外来種カワリヌマエビ属の1種と在来種ヌカエビの食性ニッチの解析. 第12回伊豆沼・内沼研究集会.
3. 大友真夏・速水裕樹・藤本泰文・嶋田哲郎・横山 潤. 2017. 伊豆沼周辺に生育する水生食虫植物イヌタヌキモの餌生物構成. 第12回伊豆沼・内沼研究集会.
4. 張宇・水野勝紀・藤本泰文・嶋田哲郎. 2017. 高解像度音響ビデオカメラ ARIS を用いた魚類調査に関する研究. 第12回伊豆沼・内沼研究集会.
5. 井上公人・門倉由季・藤本泰文・野村宗弘. 2017. 伊豆沼の濁り低減に向けた一考察. 第12回伊豆沼・内沼研究集会.

○一般普及書

1. 嶋田哲郎. 2017. ラムサール登録から30年を迎えた伊豆沼・内沼. 湿地研究 7: 59-62.
2. Shimada, T. 2017. Effects of water level on habitat selection by foraging Whooper Swans. Swan News 13: 12-13.

○委員会委員・非常勤講師など

(嶋田総括研究員)

1. 希少野生動植物保存推進員(環境省)
2. 重要生態系監視地域モニタリング推進事業(ガンカモ類調査)検討委員(環境省)
3. 宮城県生物多様性地域戦略検討委員 (宮城県)
4. 伊豆沼・内沼自然再生協議会委員 (宮城県)
5. 栗原市環境審議会委員 (栗原市)
6. 登米市環境審議会委員 (登米市)
7. 登米市生物多様性ため戦略検討委員会委員 (登米市)
8. 日本鳥学会事務局庶務幹事及び企画委員 (日本鳥学会)  
(藤本研究員)
1. 希少野生動植物保存推進員(環境省)
2. 宮城県希少野生動植物保護対策検討会委員 (宮城県)
3. 宮城県自然環境保全審議会専門委員 (宮城県)
4. 栗駒山麓ジオパーク推進協議会防災・教育部会委員 (栗原市)
5. 遠野市山口集落伝統文化的景観保存調査委員 (遠野市)
6. 旧品井沼ため池群自然再生推進委員 (環境省)
7. 日本魚類学会自然保護委員 (日本魚類学会)
8. 流域環境保全ネットワーク副理事